

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 胆道疾患、膵疾患、肝疾患の術後合併症に対する内視鏡的アプローチの有効性に関する研究

研究の目的

これまで、胆道疾患、膵疾患、肝疾患の外科手術後合併症に対しては、経皮的処置や再手術での治療が多く行われてきました。ただ、近年では、消化器内視鏡に関連した機器、検査技術の進歩等に伴って内視鏡的な治療が行われる機会が増えていますが、その有用性について詳細に検討した報告は少ないのが現状です。このため、当院において施行した胆道疾患、膵疾患、肝疾患の外科手術後合併症に対する内視鏡治療について検討することを目的としています。

研究実施 実施許可日～2029年3月31日

期間：

対象となる方： 2016年10月1日から2026年3月31日までに、附属病院消化器内科で胆道疾患、膵疾患、肝疾患の外科手術後で内視鏡検査を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、基礎疾患、既往歴（手術歴やその内容を含む）、治療契機、内服薬（抗凝固薬を含む）、検査前後の血液検査と撮像した画像検査所見（超音波検査、CT検査、MRI検査）、検査時に使用した内視鏡と関連処置具、内視鏡検査の内容、検査時に使用した鎮静薬・鎮痛薬の種類と量、検査時間、処置の可否、偶発症の有無、入院期間について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的にはこれらの情報について検討・統計解析を行い、胆道疾患、膵疾患、肝疾患の術後合併症に対する内視鏡治療の有効性について検討を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

消化器血液免疫内科学講座 吉田健太
連絡先電話番号 0172-33-5111